

船坂新聞

ホームページ <http://funasakashinbun.news.coocan.jp/>

2011.07.10 第34号

発行：船坂新聞倶楽部

問い合わせメールアドレス funasaka.moriagetai@gmail.com

音頭保存会インタビュー

8月15日の盆踊り大会に向けて

・・・・・・・・後鳥羽天皇の建久2年エエエ（ヤットナコレハワノサドッコイセ）
僧の仁西有馬に來り（アラドッコイドッコイドッコイサノサヨイヨイコリヤアットサッサ）
温泉再修その時の（コリヤ）湯槽を当地で造られる（コリヤ）当時創立せられしが（コリヤ）
これが船坂山王神社（アラドッコイドッコイドッコイサノサヨイヨイコリヤアットサッサ）
（上は船坂音頭 山口古蹟名勝調べ（船坂編）の1節です）

8月15日の盆踊り大会に向けて練習中の音頭保存会を訪問しました。

いつもは5人で練習をされているが、今日は2名が会議で抜けているとのこと。



Q) 本番まで2カ月程ですが、どのように練習されていますか？

A) 6月初めから毎週金曜日夜8時から10時まで公会堂大広間で練習します。

Q) 音頭のタイトルを教えてください。

A) 今は次の音頭をやっています。

(1) 阿波の重良兵

(2) 船坂音頭 山口古蹟名勝調べ（船坂編）

Q) 船坂音頭保存会はいつごろ出来ましたか？

A) 昭和30年代から昭和45年頃まで青年団が音頭をやっていたが、やがて青年団員が減り、音頭を取る人もいなくなり、一時期は山口の古文化保存会から来てもらっていた。

平成11年、北福さんが自治会長の時、船坂音頭保存会が結成され、女性の音頭取りも参加されていたが、保存会会員の減少により平成20年自治会を中心とした保存会になった。

Q) 最若年の梅原さんが加入された動機を教えてください。

A) 保存会から強い誘いを受けたのが動機ですが、若い人がいなかったもので、ガンバってやってみようと思いました。練習は毎週あるので大変ですが、今は楽しんでやっています。

Q) 船坂の皆さんへのメッセージをお願いします。

A) 山口町各地区や近隣の集落の音頭は盆踊りと共に世代を超えて継承されている。船坂も次の世代に伝えていきたい。

今は引継げる人が集まらず苦戦しており、若い世代の参加をお待ちしています。

どうぞ、金曜日の練習を覗いてみてください。

(インタビュー：平井 雅博，黒木 富美子)

～8月のコンサート～

8月6日(土)午後7時 ¥3,500

サマーコンサート

バイオリン：藍川理英子、佐藤友香
ピアノ：榊原契保



要：電話予約

Tel: 078-903-1172

PENNY LANE



ガレージ&カフェ ペニーレーン

〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206

TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-234C

<http://www.penny-lane.jp/>



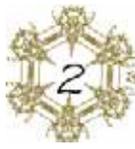
株式会社 キューコーポレーション

〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F

TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041

FAX: 0797-73-4100 E-mail: cue41@nifty.com

代表取締役 植松 稔磨



第3回趣味の作品展

第3回趣味の作品展が、6月20日（月）～7月29日（金）の間、JAふれあい会館で開催されています。

今回は、10名の皆さんが、写真、絵手紙、貼り絵、彫刻など21点の作品を出展されました。平日10時～15時の間オープンしていますので、どうぞご覧ください。

北福 康子	童画貼り絵5点	坂本 茂	木彫
坂田 芳郎	写真	坂田 礼子	紅型
牧野 いつ子	写真3点、絵手紙	大前 忠司	盆栽2点
榎木 三恵子	絵手紙3点	山崎 早苗	トールペイント2点
横垣内 忠男	仏像彫刻2点	横垣内 真澄	生花

なお、次回(第4回)は、8月1日～9月16日の間、善照学園の子ども達の作品展が予定されています。

ターフ会30回記念コンペ

森 典子さん、優勝！！

6月27日、西宮高原ゴルフ場において、ターフ会第30回コンペを開催しました。平成13年に発足し、早10年が過ぎた今回の記念コンペには25名の参加があり、森典子さん（10班）が見事優勝されました。

競技後、前回大会でホールインワンを達成された安藤 茂（9班）さんの記念パーティも兼ねた食事会は、大いに盛り上がり、次回9月16日小野東洋G. Cでの開催を決め閉会しました。（北福 敬三）

画像削除

知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626
TEL078(904)2603
パースデーケーキをお宅までお届けします。
(山口町内 無料配達いたします。)

創業昭和八年
北福豊店
西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660



西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地
Tel/Fax078-903-1158

船坂寒天づくりの回想(2)

宮本 守

2. 寒天屋の職人さん

冬季が近付けば、船坂の寒天屋は急に忙しくなってきます。丹波地方より多くの職人さんがやって来て、賑やかに丹波の方言が飛び交います。

親方さんエー 今年もよろしくお願ひしマッシャー
仕事はキツイけどネーエ、寒天づくりは好きダッシャー

職人さん達は仕事に情熱を込めて取り組んでいきます。

寒天工場の生産能力は、釜数で表わされます。「西宮市の地場産業」の資料によれば、昭和初期の全盛期における船坂の釜数は、全工場で60釜に及んでいます。釜1基の作業には男子の職人が4人当たりますので、船坂川流域全体では、240名もの男子の職人さんが寒天の製造に携わっていたこととなります。ちなみに我が家では、4釜を据えていました。

寒天屋の職人さんは棟梁が支配する徒弟制で、主に丹波氷上地方（現丹波市）からの出稼ぎ労働者でした。

職人の構成は、棟梁－釜脇－上人－かいこし、他にさらし職人がいます。

「棟梁」は総責任者で、天草の煮沸の責任をもち、「釜脇」は寒天の干場の責任者、「かいこし」は下働き者でした。

寒天づくりの仕事は朝が早く、また冬場の寒い中での仕事で、大変辛い仕事であったと思います。昔の寒天づくりの作業唄には、遠く家族と別れて働く職人さん達の心情がよく現れていると思います。

<寒天作りの作業唄>

こころ丹波で身は船坂で
落ちる涙は草の上
(草：天草)



はるか故郷を思いやる職人さんの姿が、目に浮かびます。

寒天製造は、釜はじめで始まり釜じまいで終わります。釜はじめは、煮沸用の釜を釜屋に据え付ける作業で、釜じまいは、釜の手入れをして収納する作業です。釜はじめと釜じまいの日には、寒天づくりの成果と感謝を祈り、ご馳走を作って、お酒を飲んで、賑やかにお祝いをします。

Kawahara Kobo



株式会社河原工房
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL <http://www.omoikatachini.jp>
e-mail info@omoikatachini.jp

 Kobako Vege
こぼこベジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com



セブン-イレブン
西宮船坂店

〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話 078(903)1090

縄文焼きワークショップ 参加者募集！！

この秋（9月16日～10月1日）に旧船坂小学校で「土と火と、実りの里の芸術祭 2011 in 船坂」を開催します。土を使った作品をメインに、日常使いの器から現代アートまで幅広い土の作品を展示します。

昨年のビエンナーレとはまた違った、もっと身近にアートを感じてもらえるイベントになると思います。

そのイベントの一つに、縄文焼きワークショップを企画しています。

船坂の土を混ぜた粘土を使用して、古来の焼き方（野焼き）で縄文焼きを作ってみようという企画です。参加者の皆さんには陶板に思い思いのメッセージや自分自身の表現を描いてもらい、それを船坂作品として一つの作品に仕上げてみたいと思っています。一人でも多くの方と一緒に思い出を作れたらと思いますので、是非皆さんご参加下さい！！

日 時：2011年7月26日（火）13時～

場 所：コミュニティルーム（旧船坂小学校ランチルーム）

材料費：100円

当日は汚れても良い格好、もしくはエプロンなどをご持参下さい。
小さいお子さんのご参加も大歓迎です！

指導：長瀬真弓（糺窯）、岡田安紀子

主催：土と火と、実りの里の芸術祭実行委員会

— きりとり線 —

参加申込書

お名前：

準備などの関係から、事前にお申し込みいただきたいと思います。

お問い合わせ＆申し込みは岡田安紀子携帯（080-3031-1080）までご連絡下さい。

もしくはこの申込書を7/23までに旧船坂小学校門 or 公会堂入り口の船坂新聞のポストにご投函ください。お手数ですが宜しくお願い致します。